



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月6日
上場取引所 東

上場会社名 生化学工業株式会社
コード番号 4548 URL <http://www.seikagaku.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水谷 建
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 関 広之 TEL 03-5220-8950
四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 平成24年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	13,239	△4.0	1,324	△58.8	1,781	△44.1	1,266	△40.0
24年3月期第2四半期	13,795	△0.6	3,213	78.6	3,183	85.4	2,109	79.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,010百万円 (△46.6%) 24年3月期第2四半期 1,892百万円 (141.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	22.29	—
24年3月期第2四半期	37.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	67,100	58,314	86.9
24年3月期	68,730	58,013	84.4

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 58,314百万円 24年3月期 58,013百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
25年3月期	—	12.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,750	△1.2	2,700	△41.5	3,550	△25.6	2,700	△17.5	47.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、『添付資料』P. 3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、『添付資料』P. 3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期2Q	58,584,093株	24年3月期	58,584,093株
25年3月期2Q	1,777,032株	24年3月期	1,776,833株
25年3月期2Q	56,807,176株	24年3月期2Q	56,807,467株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、平成24年11月6日より当社ホームページに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）の売上高は、前年同期と比べ4.0%減少し132億3千9百万円となりました。これは、国内アルツや海外医薬品の販売数量が増加した一方で、薬価引き下げや研究用試薬事業廃止等による減少があったことによるものです。

利益につきましては、各開発テーマ進捗に伴う研究開発費や、ジェル・ワン訴訟費用を中心に、販売費及び一般管理費が14億3千万円増加したことから、営業利益は58.8%減少し13億2千4百万円となりました。経常利益は、受取ロイヤリティー発生に伴う営業外収益の増加等により減益幅が縮小し、44.1%減の17億8千1百万円、四半期純利益は40.0%減の12億6千6百万円となりました。

セグメント別の売上概況

<医薬品事業>

- ・国内医薬品（90億3千2百万円、前年同期比3.2%減）

関節機能改善剤アルツの国内市場は、高齢者人口の増加に加え、販売提携先である科研製薬株式会社とともに推進している変形性ひざ関節症の疾患啓発活動により、引き続き拡大しました。アルツについては、先発品としてのブランド力を活用した拡販に注力したことで、医療機関納入本数が増加し市場シェアも拡大しました。しかしながら、当社売上は、薬価引き下げの影響を受け微減となりました。

眼科手術補助剤オペガンは、販売提携先の参天製薬株式会社と連携した販売促進活動に努めたことや、前年同期に震災や節電の影響を受けて白内障手術件数が減少した反動もあり、医療機関納入本数は増加しましたが、競合が厳しさを増しており市場シェアは減少しました。当社売上は、薬価引き下げや販売提携先の在庫調整の影響により減少しました。

内視鏡用粘膜下注入材ムコアップは、販売提携先のジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社とともに内視鏡手術の手技を浸透させる施策に注力したことから、増加しました。

- ・海外医薬品（17億8千3百万円、同8.1%増）

米国向け関節機能改善剤スパルツは、一部の保険会社による償還厳格化の影響を受けましたが、競合品との差別化に特化した営業戦略を展開したことから、現地販売は微増となりました。当社の輸出売上は、販売提携先が在庫水準を高めたこともあり増加しました。

中国向けアルツは、主要都市の医療機関を中心に「高い品質」や「世界初のオリジナル製品」であることが評価され、好調を維持しました。

- ・医薬品原体（6億3千6百万円、同3.4%減）

前年同期にあった出荷時期ずれの反動でヒアルロン酸が増加した一方、コンドロイチン硫酸の出荷が低水準であったため減少しました。

これらの結果、医薬品事業の売上高は114億5千3百万円（同1.6%減）となりました。

<LAL事業>

エンドトキシン測定用試薬は前年同期並みとなりましたが、平成24年3月の研究用試薬事業廃止の影響により、売上高は17億8千5百万円（同17.2%減）となりました。

報告セグメントの変更等について

研究用試薬事業の廃止や、生化学バイオビジネス株式会社（旧連結子会社）の吸収合併に伴い、平成25年3月期より報告セグメントを変更しております。従来、試薬・診断薬（エンドトキシン測定用試薬、研究用試薬）及び医薬品原体で構成していた機能化学品事業のうち、医薬品原体を医薬品事業に含め、エンドトキシン測定用試薬をLAL事業としております。変更後の各セグメントの売上高に含まれる内容は、以下のとおりです。

- ・「医薬品事業」：国内医薬品；国内市場向け医薬品に関連する売上高
海外医薬品；医薬品の輸出に関連する売上高
医薬品原体；国内外の医薬品原体等に関連する売上高
- ・「LAL事業」：エンドトキシン測定用試薬に関連する売上高

(2)連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期までの実績及び現時点で見通すことの出来る諸要素を織り込んで、平成24年5月10日に発表した平成25年3月期連結業績予想を以下のとおり修正しました。

売上高は、円高の影響や医薬品原体が減少する一方、本年8月における特許訴訟勝訴に伴いジェル・ワンの出荷を新規に織り込むことや、中国向け輸出の数量が増加することで、前回予想を若干上回る見込みです。ジェル・ワンの売上につきましては、当期中は本格発売に向けた準備期間であることを考慮した予想としています。

利益につきましては、ジェル・ワン訴訟費用などの販売費及び一般管理費が減少することや、受取ロイヤリティー発生に伴う営業外収益の増加等により、営業利益、経常利益、当期純利益ともに、前回予想を上回る見込みです。

以上により、売上高は267億5千万円（前回予想比0.2%増）、営業利益27億円（同3.8%増）、経常利益35億5千万円（同14.5%増）、当期純利益27億円（同22.7%増）を予想します。

なお、研究開発費の予想は67億円と前回予想から変更ありません。対売上高比率は25.0%となります。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	26,700	2,600	3,100	2,200	38.73
今回修正予想（B）	26,750	2,700	3,550	2,700	47.53
増減額（B－A）	50	100	450	500	－
増減率（%）	0.2	3.8	14.5	22.7	－
前期実績（平成24年3月期）	27,082	4,617	4,770	3,270	57.58

注）第3四半期以降の連結業績予想の為替レートは、前回想定レートの対米ドル81円から78円に変更しています。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率に係る法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含まれております。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,011	6,056
受取手形及び売掛金	8,903	9,076
有価証券	10,370	7,765
商品及び製品	2,562	2,745
仕掛品	775	987
原材料及び貯蔵品	935	1,124
繰延税金資産	609	623
その他	645	1,124
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	30,812	29,502
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,776	15,600
減価償却累計額	△8,950	△9,142
建物及び構築物（純額）	5,826	6,458
機械装置及び運搬具	10,251	11,156
減価償却累計額	△8,554	△8,978
機械装置及び運搬具（純額）	1,697	2,178
土地	790	791
リース資産	1,237	1,227
減価償却累計額	△607	△679
リース資産（純額）	630	548
建設仮勘定	4,367	5,215
その他	3,119	3,442
減価償却累計額	△2,348	△2,489
その他（純額）	770	953
有形固定資産合計	14,082	16,145
無形固定資産		
その他	277	254
無形固定資産合計	277	254
投資その他の資産		
投資有価証券	22,161	19,712
長期貸付金	200	180
繰延税金資産	59	60
その他	1,361	1,448
貸倒引当金	△224	△204
投資その他の資産合計	23,557	21,197
固定資産合計	37,917	37,597
資産合計	68,730	67,100

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,250	1,491
1年内返済予定の長期借入金	—	700
リース債務	191	191
未払金	5,615	3,797
未払法人税等	941	554
賞与引当金	608	621
災害損失引当金	16	16
その他	352	627
流動負債合計	8,974	8,001
固定負債		
長期借入金	700	—
リース債務	407	316
繰延税金負債	436	270
資産除去債務	100	101
その他	96	96
固定負債合計	1,742	785
負債合計	10,717	8,786
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,840	3,840
資本剰余金	5,301	5,301
利益剰余金	51,004	51,561
自己株式	△2,077	△2,077
株主資本合計	58,069	58,625
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	852	549
為替換算調整勘定	△908	△861
その他の包括利益累計額合計	△56	△311
純資産合計	58,013	58,314
負債純資産合計	68,730	67,100

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	13,795	13,239
売上原価	4,933	4,835
売上総利益	8,861	8,403
販売費及び一般管理費		
販売手数料	953	945
人件費	846	828
賞与引当金繰入額	184	172
退職給付費用	48	39
研究開発費	2,422	3,412
その他	1,192	1,679
販売費及び一般管理費合計	5,648	7,078
営業利益	3,213	1,324
営業外収益		
受取利息	106	84
受取配当金	92	88
受取ロイヤリティー	5	428
その他	47	46
営業外収益合計	251	648
営業外費用		
支払利息	20	16
為替差損	176	122
投資有価証券評価損	50	—
その他	33	53
営業外費用合計	280	191
経常利益	3,183	1,781
特別損失		
災害による損失	71	—
特別損失合計	71	—
税金等調整前四半期純利益	3,112	1,781
法人税、住民税及び事業税	1,002	513
法人税等調整額	0	1
法人税等合計	1,003	514
少数株主損益調整前四半期純利益	2,109	1,266
四半期純利益	2,109	1,266

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,109	1,266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△230	△302
為替換算調整勘定	13	46
その他の包括利益合計	△217	△255
四半期包括利益	1,892	1,010
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,892	1,010
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3)継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4)セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	医薬品	L A L (注)1	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,639	2,156	13,795	—	13,795
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	42	42	△42	—
計	11,639	2,198	13,838	△42	13,795
セグメント利益	2,704	508	3,213	—	3,213

(注)1. L A L事業は、廃止した研究用試薬事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	L A L	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,453	1,785	13,239	—	13,239
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,453	1,785	13,239	—	13,239
セグメント利益	980	344	1,324	—	1,324

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

研究用試薬事業の廃止や、生化学バイオビジネス株式会社(旧連結子会社)の吸収合併に伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを変更しております。従来、試薬・診断薬(エンドトキシン測定用試薬、研究用試薬)及び医薬品原体で構成していた機能化学品事業のうち、医薬品原体を医薬品事業に含め、エンドトキシン測定用試薬をL A L事業としております。

なお、前第2四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。